

事例の情報	氏名：H・K 性別：女性 年齢：95歳 身長：149cm 体重：45.6kg
人生経過	口永良部島で4人兄弟の1女として生まれる。22歳で警察官の夫と結婚子供3人(1女2男)を育て県内転勤をして生活していた。 30年以上踊りの先生をしてきたが、膝痛など身体不調のため継続困難となり、長女へ引き継ぐ。 身体機能の低下に伴い、夫への介護負担軽減のためショートステイ利用しながら生活していた。 夫も病気療養する事となり、自宅生活継続困難で施設入所となる。
様子が変わってから 来院時までの経過	H29年次男が他界後、うつ的となり家族へ被害妄想やもの忘れが出現し、専門医を受診し認知症と診断。 徐々に歩行状態不安定となり長時間の歩行困難、外出の機会外出機会が減少する。 両膝関節痛、腫脹を繰り返し、疼痛増大時は関節穿刺、ヒアルロン酸注射し、車椅子生活を過ごしている。 入院時、疼痛増悪や心不全徴候時はHDS-R=12点であったが4点と下降している。
初見時の様子・印象	来苑時は、夫、息子夫婦、娘夫婦5人で来られる。 夫婦、子供たちと正月に一時帰宅するため、リハビリを頑張って来るよう涙しながら話していた。 病棟へ行くため手を振り別れる。表情は硬く笑顔もない。 本人は気丈に頑張って来ると言って別れたが、状況が理解できていない様子。病棟へ行きしばらくすると、家族が見送ってくれた事、話した内容の全てを忘れ「私をどんな思いでここに預けたのか。」「夫はここに来るのか?」「家に帰ってご飯準備しないといけない。」など繰り返される。 車椅子座位姿勢は、下肢は突っ張り、脚乗せに足を乗せていない。 顎は上がっていて、体幹は後方へ反っていて、きよるきよると落ち着きがない。あちこちにぶつかりながら車椅子を駆動して「帰ろうか」と言う。
他の疾患	両変形性膝関節症(左>右) ヘルニア 腰椎圧迫骨折 腰椎圧迫骨折 右半月板損傷 緑内障(右目見えず左弱視) 左乳がん術後 脾臓損傷 左多発肋骨骨折 右胸水 甲状腺がん手術(44歳) 甲状腺機能低下(H12年再発し全摘) 高血圧症 脾臓損傷 骨粗鬆症 アルツハイマー型認知症
生活状況	夫の介護協力を得ながら夫婦二人暮らし、家事は夫、子供たちは時々訪問し生活支援をしていた。 自宅での食事は惣菜や娘たちが用意した物を提供。 ヨード制限(海藻類：特に昆布、魚介類など)あり。 摂食ペース早く、かき込みあり、むせ込み観察ある。
家族・職員の困りごと	家族：もの忘れ(起こった事・言った事をすぐ忘れる) 職員：車椅子での徘徊 (落ち着きがなく周囲への注意が不十分で危険) 帰宅願望(いつ帰れるのか、今日は帰るを繰り返す)

<p>身体状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・車椅子自操は可能だが、視界不良のため、目的地への移動は障害物への注意なくスムーズに出来ない。 ・自席に誘導しても、落ち着きなく車椅子で移動してしまう。「今日はお父さん(ご主人)の所に帰ろう。」 「私は子供の育て方を間違えた。ここにどんな思いで私を連れて来たんだろうか。」「ご飯の準備をしないといけないから、今日は帰るから。」と言う。 ・同じ話をする。同じ事を聞く。 ・「あれ、これ」と言い、何のことも伝えられない。 ・注意・集中力がない。 ・食事はセッティングし、時々声かけ、飲み物はとろみを付けている。 ・排泄は、オムツ着用だが、日中はトイレ誘導実施。 ・「疲れるから」とベッドに横になろうと言われる。
<p>身体状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・寝返り・起き上がりは一部介助、ベッド上端座位保持は柵を把持、車椅子移乗は体幹が反り返るため、ほとんど介助。 ・視界不良のため、動作開始時は恐怖感があると訴える全身の伸展傾向、筋のこわばりが観察される。 ・自分で車椅子座位保持の修正できない為、介助修正にて姿勢保持、バランス整え必要。 ・両変形性膝関節の診断あり。両膝関節ともに水が溜るため、必要時に関節穿刺を行う。 ・両膝関節共に荷重時痛あり、轢音ある。

<p style="text-align: center;">検査結果 (MMSや長谷川式など)</p>	<p>(R4.12.21) MMSE 11点 時間の見当識(1点)、場所の見当識(1点)、即時想起(3点)、計算(1点)、遅延再生(1点)、物品呼称(2点)、文の復唱(1点)、口頭指示(1点)、書字指示(0点)、自発書字(0点)、図形模写(0点) FAB 4点 検査1(0点)、検査2(0点)、検査3(1点)、検査4(0点) 検査5(0点)、検査6(3点)</p>
<p style="text-align: center;">現在のアプローチ内容</p>	<p>治療開始：R4.12.21～(入所：R4.12.14) ・前頭葉の血流UP 鼻呼吸(1～3分：自律神経の安定) 顎二腹筋マッサージ (30秒以上) ・整体(呼吸・全身の筋緊張緩和・膝関節痛・浮腫) 僧帽筋上部-下部 菱形筋 肩甲骨はがし 大胸筋-広背筋 殿筋 大腿直筋-ハムストリング 腓腹筋 前脛骨筋 ・卓上(集中力UP) 表にきれいな○を書いていく</p>
<p style="text-align: center;">経過</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動後、全身の伸展傾向の突っ張り、顎の上がりも軽減。 ・呼吸も浅く、胸郭も硬いが、上半身の突っ張り減少。 ・臥床時も車椅子座位時も下肢は伸展し、車椅子の脚乗せから足部は落下し、自力で乗せられないが、 運動後は、両下肢の浮腫み、膝関節周囲の腫れは、継続あるが、両下肢の筋緊張緩和図れ、車椅子座位時の下肢屈曲位保持スムーズ。 ・家族や職員への感謝の気持ちを口に出すようになった。